

ご挨拶

盛夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、私たち特定非営利活動法人サポートセンターそしあるでは、「日中サービス支援型共同生活援助事業所（グループホーム）ひまわり」を開所する運びとなりました。

本事業は、自閉症や強度行動障がいといった重度の障がいをお持ちの方々に対し、地域の中で安心して生活できる「住まい」を提供するとともに、日中も専門的な支援体制のもと、個々のニーズに応じた支援を継続していくことを目的としております。

ここに至るまで、多くの方々のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。特に、ご家族の皆様、地域住民の皆様、行政・医療・福祉関係者の皆様には、多大なるご協力をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

私たちは、このグループホームが、利用される方々にとって「自分らしく生きる場所」となれるよう、そしてご家族にとって「安心できる場所」となれるよう、日々研鑽を重ねてまいります。強度行動障がいという特性に対する深い理解と専門性をもって、支援の質を高めてまいります。

今後とも、より良い支援の実現に向けて尽力してまいりますので、引き続きのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



特定非営利活動法人
サポートセンターそしある
理事長 安藤 学

事前準備の重要性

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、事前準備の大切さは成功を収めるための重要な要素と言われており、**段取り八分、仕事二分**という言葉が示すように仕事の80%は準備で決まり、しっかりとした準備があれば、実行時の成功率が高まると言われています。

そしあるでも、各一人ひとりのスケジュール（来所時間等での変更）や外出時の下見、変更時の説明書作成など、準備が必要な機会が多くあります。掃除もその一つで、綺麗にして受け入れを行うことはもちろんですが、ゴミが落ちていたり口に入れてしまう方もおられる「かもしれない」というように考え、準備を行っています。また、外出先のお店で下見に行った際、「もしかしたら、〇〇が気になって取りに行くかもしれない」と考え、別の動線を考え準備を行っています。直接支援時も同じで少し表情が険しいなという方がおられた際、飛び出すかもしれないと考え、立ち位置の工夫や他職員とコミュニケーションを取りながら、動線の確保など受け入れの準備を行っています。このように準備を行う段階で「〇〇かもしれない」と予測されることがいくつもイメージできるようになると、実際に想定内のことが起きても落ち着いて対応することができます。最近では、グループホーム事業開始に伴い、これまでに入居者のタイムスケジュールや居室の振り分けなど年明けから職員やご家族と何度も話し合いを行い準備を行ってきました。2週間が経とうとしていますが、大きな混乱等もなく皆さん穏やかに生活されております。

今後も、「〇〇かもしれない」という意識を持ちながら、しっかり準備をし利用者様が楽しく、落ち着いて過ごせるサービスが提供できるよう業務に取り組んでいきたいと思っております。

支援課長 高橋 永一郎

日中サービス支援型共同生活援助「ひまわり」



日中サービス支援型共同生活援助「ひまわり」が、7月1日より開所致しました。

皆様にいつも笑顔でゆっくりと過ごしていただけるような心地良い空間になるように頑張っていきます。

そしあるアドレス

そしある固定電話：0985-77-8817

そしあるFAX：0985-77-8818

そしある携帯①：080-5245-5677

そしあるPCアドレス：sosiaru@miyazaki-catv.ne.jp

そしある携帯アドレス：sosiaru80-78@softobank.ne.jp

そしあるHP

<https://npo-social.com>

ともしアクセスしてください。

ご相談のある方は、

いつでもご連絡下さい。